

12/6 (TUE) 15:00～16:30

神戸女学院大学 ホルブルック館301室

【公開講義】

特定秘密保護法と表現の自由

～国連特別報告の警告・

脅かされる日本の報道の独立性～

特別講師 藤田早苗氏

(エセックス大学人権センターフェロー)

「『特定秘密保護法』、そして政府による『中立性』と『公平性』への絶え間ない圧力が、高いレベルの自己検閲を生み出しているように見えます」

今春、国連の人権専門家であるデビッド・ケイ氏は、日本のメディア状況に対して、こう警告を発しました。

いま、国際社会は日本のメディア状況をどう評価しているのか。

国連の中間報告の内容を踏まえながら、特定秘密保護法と「表現の自由」の問題について考えていきます。

【問い合わせ】 景山佳代子 (文学部)

[kageyama@mail.kobe-c.ac.jp](mailto:kageyama@mail.kobe-c.ac.jp)